

阿南高校と地域の発展を考えるシンポジウム報告

○開催日時 令和7年8月21日（木曜日）14:30～17:20

○開催場所 阿南文化会館（阿南町西條）

○参加者 221名（県議、阿南高校協力会員、同窓会・高校関係者、地域住民等）

○講師 今井 典夫氏（兵庫県立村岡高等学校教諭）
筒井 一伸氏（鳥取大学地域学部教授）

○パネリスト 勝野 一成氏（阿南町長）
杉本 文良氏（ナピカ経営者）
片町 元彦氏（阿南高等学校PTA会長）
牧内 千明氏（阿南高等学校長）
木下 長義氏（阿南高等学校同窓会関東支部長）

○シンポジウムの概要

① 宮島同窓会長挨拶

地域住民の熱望により誕生した阿南高校は、特定校として当面は残る道のりが見えてきたが、そのためには地域の協力が重要

② 牧内校長による阿南高校の概要説明

③ 木下長義氏による「阿南高校特色化に向けての提言書」に基づく問題提起

生徒数の激減により学校の存続が危機的状況にある。

学校と地域の存続を一体の課題と捉えたい。学校再編反対運動ではなく、地域が学校を残してほしいと声を

上げ、生徒が誇りをもって通学できて、阿南高校が地域になくてはならない存在になっていくような存続運動が必要。そのためには魅力的な教育内容と安心できる学習環境の整備をはかり、域外からも生徒にきてもらえるよう、行政、地元住民、高校が一体となつての行動が必要。教育課程や内容も先行事例に学び、地域資源を生かして魅力のあるものを創りあげたい。

④ 今井典夫氏による基調講演

「学びは地域を創るー地域を学びのフィールドにした新たな学びー」をテーマに地域アウトドアスポーツ学科を設置して学外から生徒を募集している兵庫県立村岡高等学校では、地域が一体となつて行った取り組みを紹介され、地域住民と町行政の熱心な高校へのかかわりが非常に大事であること、学校は地域を支える基盤という想いを共有することの報告



⑤ 筒井一伸氏による基調講演

「地域を育てる学力」「地域を捨てる学力」「関係人口」をキーワードに鳥取大学が取り組んでいる村岡高校での知識伝達を主にした教育から「自分で考え、表現し、行動のできる」学力を育てることが、現実の進学・受験の学力の強化にも通ずること、広い意味での「関係人口の創出」にもつながるとする実践報告

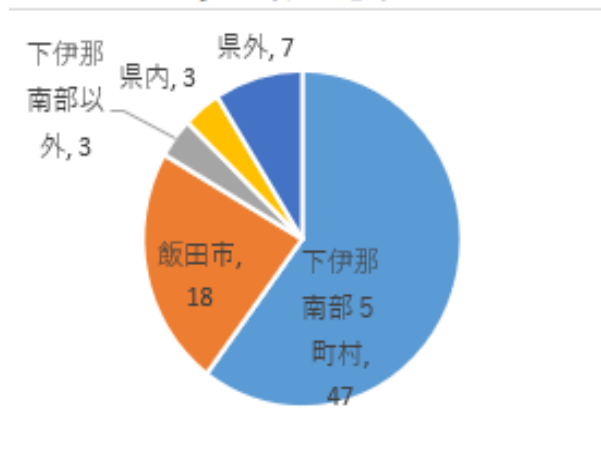


⑥ パネルディスカッション

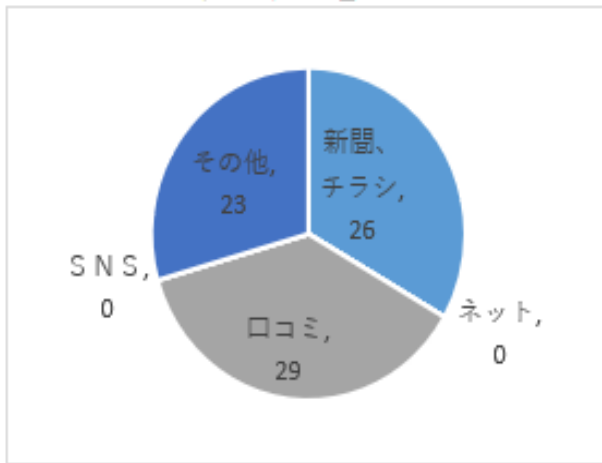
講師2名に進行と助言者を担っていただき、パネリスト5名によるクロストーク。それぞれの高校時代の思い出や提言書の中で共感した部分や阿南高校の強み、地域のシンボルである高校の重要性について熱い思いを語っていただき、高校と地域の存続は一体のものとする共通認識を確認することが出来た。

○参加者からのアンケート（78名回答）

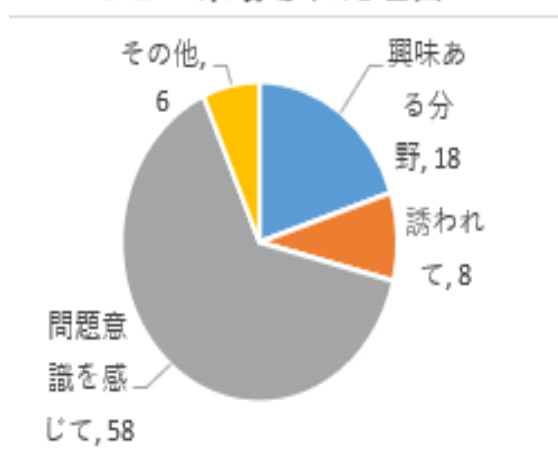
参加者の地域



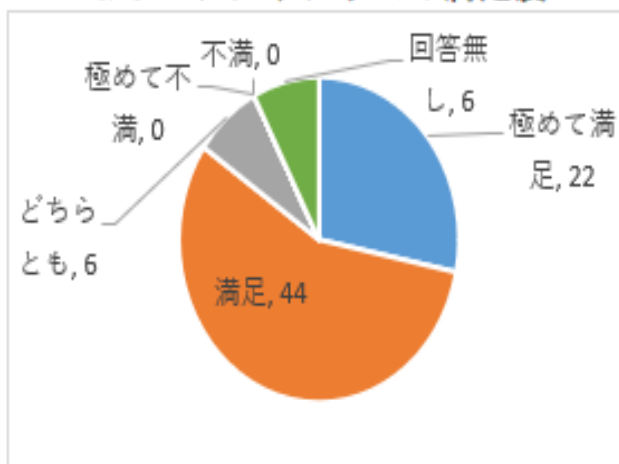
Q1 シンポジウムをどこで知ったか



Q2 来場された理由



Q3 シンポジウムの満足度



Q4 シンポジウムの満足度に関する意見（要約）

【極めて満足と回答され方】

- ・ 地域と高校の連携の重要性に共感
- ・ 実体験に基づいた話が参考になった。
- ・ 教育が地域づくりに貢献するという視点が新鮮
- ・ 同窓会の提言や地域の団結力に感動
- ・ 若者の参加促進のため、開催時間の工夫を提案

【満足と回答された方】

- ・ 地域と学校のつながりの可能性に気づいた。
- ・ 他地域の事例（村岡高校など）が参考になった。
- ・ 地域教育の重要性を再認識
- ・ パネルディスカッションが有意義だった。
- ・ 地域の大人と高校生の交流の必要性を感じた。

【どちらともいえないと回答された方】

- ・ 村岡高校の成果や志願者数など、具体的な結果が知りたかった。
- ・ 地域と学校の連携には大きな力が必要
- ・ 当日のスケジュールが詰まりすぎていた。

Q5 今後の取り組みや変化への提案（要約）

- ・ 地域と高校の垣根を越えた継続的な交流の必要性
- ・ 小中学生から地域に目を向ける教育の導入
- ・ 地域資源を活かした特色ある教育の推進
- ・ 高校のオープン化や地域住民との協働
- ・ 卒業生や地域の人材を活用した教育支援
- ・ 地元就職支援制度の構築
- ・ 地域おこし協力隊の活用
- ・ 教職員の意識改革と行政の支援強化。
- ・ 地域に根ざした学力育成と若者が定着できる地域づくり。

○所感

平日の午後にもかかわらず、200名を超える方が参加された。テーマである「高校と地域の発展を考える」を通して、高校の存続が地域全体の課題であること、地域を挙げて高校の未来を一緒になって考え、支え合い、協働していくことの重要性を改めて確認・共有できたことはアンケートからも窺え、大きな意義があった。

多くの方に関心を持っていただいた提言書に示された様々な課題や構想を実現していく為の取り組みは、今まさにスタート地点についたばかりであり、関係各位の皆様には引き続き興味・関心を持ち、支援していただくことをお願いします。

開催にあたり、多大なご支援・ご協力を頂いた阿南町と阿南高等学校協力会に感謝申し上げます。
ありがとうございました。